

水産物の市況について(令和3年1月及び令和3年2月)

—東京都中央卸売市場における令和3年1月(令和2年12月21日～令和3年1月20日集計)の市況と、
令和3年2月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和3年1月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや減少し、前年同月比でもやや減少しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比ではやや弱含みに推移しました。

II 令和3年2月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

産卵を終えた群が徐々に北上を始め、常磐沖での漁獲が上向くことから、入荷量はやや増加すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、銀ざけ主体に横ばいと見込まれ、卸売価格は不漁の紅ざけが高いものの、全体では横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、盛漁期を過ぎたことから減少すると見込まれるものの、卸売価格は、産卵後の身質やサイズの低下及び需要が弱いこともあり、横ばいと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

産地の水揚げが減少しているため、入荷量は減少すると見込まれ、卸売価格は強含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は産卵期を前に徐々に増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、コロナ禍の外出自粛要請や飲食店の営業時間の時短もあり、需要がかなり弱いことからさらに減少すると見込まれ、卸売価格は、全体で弱含みと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	1月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
3年	30	1,250	31	1,189	32	1,116
前年	31	1,328	34	1,232	34	1,141

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	1月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	418	78	119	108
さけ・ます(平均)	910	101	108	95
(ぎんざけ塩蔵品)	817	101	95	85
(あきさけ塩蔵品)	760	97	84	102
(ときさけ塩蔵品)	1,747	115	159	164
(べにざけ塩蔵品)	1,798	121	142	148
(さけ類冷凍品)	890	102	110	97
さば(生鮮品)	437	98	93	94
するめいか(平均)	903	96	99	113
(生鮮品)	896	94	101	108
(冷凍品)	962	108	84	133
あじ(生鮮品)	655	125	103	108
まぐろ(冷凍品)	1,411	93	97	90
(めばち冷凍品)	997	99	93	87
(きはだ冷凍品)	912	92	118	99
(くろまぐろ冷凍品)	2,423	81	76	72
(みなみまぐろ冷凍品)	1,722	97	95	86

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:1月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成28年~令和2年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山

直通 03-3591-5612